

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和 6 年度第 2 回松阪市総合教育会議
2. 開 催 日 時	令和 6 年 12 月 20 日（金） 15 時～16 時 30 分
3. 開 催 場 所	松阪市役所 第 2 分館 教育委員会室
4. 出席者氏名	出席委員 竹上真人市長、中田雅喜教育長、服部美由紀教育委員、松江茂教育委員、安岡幹根教育委員、松岡曜子教育委員 事務局 藤木企画振興部長、川上経営企画課長、小川経営企画課経営企画担当主幹、西山経営企画課政策経営係長、教育委員会事務局 刀根局長、金谷次長、西浦教育総務担当参事兼教育総務課長、小泉学校支援課長、小泉生涯学習課長ほか
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	2 人（内、報道関係 1 社）
7. 担 当	松阪市企画振興部 経営企画課 TEL 0598-53-4319 FAX 0598-22-1377 e-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp

・協議事項

- 1) 教育大綱案について
- 2) 災害時における学校現場の対応について
- 3) P T A の役割とは何か

◎会議要旨は別添

令和 6 年度 第 2 回松阪市総合教育会議 要旨

開催日時：令和 6 年 12 月 20 日（金） 15 時～16 時 30 分

開催場所：松阪市役所 第 2 分館 教育委員会室

出席委員：竹上真人市長、中田雅喜教育長、服部美由紀教育委員、松江茂教育委員、安岡幹根教育委員、松岡曜子教育委員

事務局：藤木企画振興部長、川上経営企画課長、小川経営企画課経営企画担当主幹、西山経営企画課政策経営係長、教育委員会事務局 刀根局長、金谷次長、西浦教育総務担当参事兼教育総務課長、小泉学校支援課長、小泉生涯学習課長ほか

傍聴者：2 人（内、報道関係 1 社）

・市長あいさつ

改めまして皆さまこんにちは。本日は教育大綱策定の 2 回目の会合です。今年度中にもう 1 回の開催が予定されており、そこで決定がなされる予定です。私からは松阪市での取り組みについて、特に教育委員会に関わる事項についてお伝えします。まず、こども家庭センターが 4 月から稼働し、子育て支援が充実しました。特にハイリスク家庭への支援が強化され、妊娠期から出産、子育て、就学前までをワンストップで支援する体制が整いました。次に、6 月からは選定療養費について議論が進められました。学校における課題も含め、様々な視点から検討が行われました。パリオリンピックでは、松阪市ゆかりの選手が活躍し、パブリックビューイングで盛り上がりを見せました。船型埴輪の国宝決定。みえ松阪マラソンでは、川内選手もご参加いただき、子供たちの応援が大変良かったとの評価をいただきました。また中学校の生徒たちも積極的にボランティア参加いただきました。さらに、9 月から以下の 2 点が開始されました。1 つ目は高校 3 年生までの医療費の無料化で、所得制限が撤廃されました。2 つ目は、松阪市に住む 3 人目以降の子供の給食費が無料になりました。上の子が高校 3 年生までの範囲が対象となります。少しでもこのように子育て環境の整備を進めて、地域社会の発展を目指してまいります。本日は、皆様に 3 つのテーマをご用意しておりますので、しっかりと議論していただければと思います。よろしくお願いいたします。

【松阪市総合教育会議設置要綱第 4 条に基づき、竹上市長が議長となり進行】

1) 教育大綱案について

資料 1－① 教育大綱案

資料 1－② 教育大綱説明資料

◇ 開会及び教育大綱案の説明

- 会議は公開であることの確認と、事務局より教育大綱案に関して資料の説明を行う。

◇ 健やかな体

- 健康や体力の向上、生活習慣の定着、運動能力の向上、食育の重要性を強調した。特にオーバードーズの問題も重要であることを指摘。

◇ 個性の尊重と未来を切り拓く力

- 基本方針「一人ひとりの個性を大切にし、未来を切り拓く子どもを育てる」に注目し、外国人児童や特別支援、不登校支援の充実に期待する。

◇ 教育環境整備

- 教育環境の整備（特にエアコン設置の進捗）や教職員の資質向上を期待する。

◇ 若手教職員の育成

- 若手教職員の育成の難しさに対して教育委員会での引き継ぎや新人教育のシステム構築が重要である。

◇ 金融教育

- 金融機関と行政の協力を強調し、幼少期からの教育が経済への意識改革や創業者育成に寄与する可能性がある。

◇ ボランティア活動と環境整備

- 学校の冷暖房整備についての評価と、制服に関する、児童との協議の場の設置を提案。
- マラソンボランティア活動について、多くの方からの感謝の声があること、バスの利便性向上を評価。他の学校生徒の参加募集が有意義な経験となると指摘。

◇ 継続的な検討事項

- 教育長から、不登校、金融教育、ボランティア参加、若者支援に関する既議論の結果を次の教育ビジョンに組み込む予定を表明。
- 提言を基に、持続可能な社会の作り手として、ウェルビーイングを重視し、小中学校再編とスポーツを絡めたまちづくりを軸に進める。

2) 災害時における学校現場の対応について

資料2-① 防災訓練の振り返り

資料2-② 防災訓練の児童生徒等の感想

資料2-③ 防災訓練実施要項

資料２－④ 防災教育について

資料２－⑤ 防災訓練安否確認の流れ

◇ 防災訓練の実施

- 松阪市で総合防災訓練を実施し、児童生徒の安否確認を試みるも、即座な全員の安否確認は困難さを認識。
- 輪島市への職員派遣により、避難所としての学校利用の課題（学力保障・教育機会の提供）が明らかに。

◇ 防災訓練の実施結果

- 小学校の安否確認回答率は 97.5%、中学校は 84.3%。
- システムの不具合により一部重複回答の可能性あり。
- 家庭との連携が防災意識向上につながる。

◇ 児童生徒・保護者の感想

- 多くが訓練を肯定。
- 家族での防災計画の意識が向上。
- さらなる家庭との対話の機会の促進が重要。

◇ 教員の所感と今後の課題

- タブレット機能の改善要望や、停電時の対応の必要性が指摘される。
- データ収集システムの課題が判明し、改善を予定。
- 将来的な防災訓練の質向上を目指す。

◇ 防災教育の現状

- 各学校で発達段階に応じた防災教育を実施中。
- 「防災ノート」やポータルサイトを利用し、防災学習を推進。

◇ 市全体での取り組み

- 松阪市全体での防災訓練において、地域行事との重複が課題。
- 住民自治協議会も参加、一部から日程重複への意見あり。
- 児童生徒の安否確認を重視し、課題改善を継続。

３）ＰＴＡの役割とは何か

資料３－① ＰＴＡ関係資料

資料３－② 県ＰＴＡ連合会決算書

資料３－③ 市ＰＴＡ連合会決算書

◇ コミュニティスクールの導入状況

- 松阪市では 47 校中ほぼ全ての学校でコミュニティスクールが整備された。この変化に伴い、PTA との役割の変化が注目されている。

◇ PTA の役割再考

- 全国的に PTA の解散や不祥事が報道されており、その存在意義の再考が求められている。PTA は任意団体で、法律上の規定はなく、コミュニティスクールの導入により、その役割に疑問が生じている。

◇ 保護者と地域の理解促進

- 多くの保護者にコミュニティスクールについての理解が浸透しておらず、PTA とコミュニティスクールの関係を明確に説明し、参加しやすい環境を整えることが重要。特に中学校単位での導入により、小学校間のつながりが失われる懸念がある。

◇ 地域との協力と支援

- コミュニティスクールでは地域が学校運営に関わることで、従来の PTA 活動が地域にも支えられている。現役を退いた高齢者などが活動に参加し、子供たちに知識を伝える場が設けられている。

◇ 制度の起源と導入モデル

- コミュニティスクールは平成 10 年の学習指導要領の改訂から始まり、地域を巻き込んだ学校活動が重視された。本市では早期に取り組みを開始し、鎌田中学校区で研究が進められた。

◇ PTA 活動とスリム化

- PTA の役割分担がコミュニティスクールに移行されることで、PTA の業務が軽減され、活動がスムーズになる可能性がある。地域によって事情は異なるが、負担の軽減を図る試みが進行中。

◇ 課題と今後の展望

- PTA の具体的な活動をコミュニティスクールに切り替えることで、PTA の負担が軽減し、地域全体が学校を支える体制が整うことが期待される。意見交換や経験を通じてさらに改善を進める必要がある。

≪16 時 30 分 終了≫